

第 59 回（令和 2 年度）
高知県学校体育保健研究大会
【香長土大会】

紀要《研究主題》

生涯にわたって運動やスポーツに親しみ、
スポーツとの多様な関わり方を場面に応じて選択し、
実践することができる体育学習

あ い さ つ

高知県学校体育保健研究連合会

会長 神家 一成

第59回高知県学校体育保健研究大会（香長土大会）は、令和2年11月20日（金）に高知県立青少年センターを主会場として開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大の影響により、従来の参集開催型式から研究紀要による誌上開催方式と各体育連盟のホームページに掲載するウェブ開催型式へと変更になりました。

新型コロナウイルス感染症は、2020年1月にWHOが確認して以来、一気に世界中に拡大し、全世界を混乱に陥れました。国内においても、感染拡大防止のために様々な行動が制限され、日常生活さえも新たなスタイルが求められ、学校教育やスポーツ活動においても大きな影響を受けることになりました。学校は長期の休校措置やオンライン授業、スポーツ大会やイベントは大小にかかわらず中止を余儀なくされました。日本国民のみならず全世界から開催が期待されていた東京オリンピック・パラリンピックも、1年後に延期されることになりました。国内の感染状況は増大と減少の波を繰り返し、その度ごとに国や自治体から発出される宣言に国民は翻弄されてきました。直近の全国的感染概況は、やや明るい兆しが見え始めてきましたが、都市圏では緊急事態宣言が発出されたままであり、依然として予断を許さない状況が続いております。

そのように大変厳しい状況の中、香長土地区の皆様は、「生涯にわたって運動やスポーツに親しみ、スポーツとの多様な関わり方を場面に応じて選択し、実践することができる体育学習」を全体研究主題に掲げ、高等学校では『安全・安心な授業を目指して』～怪我をしない・させない授業づくり～、中学校では『自信を持ち、主体的に運動できる生徒の育成』～有能感を高める効果的な学習指導の工夫～、小学校では『楽しい できた またやりたい』～次への意欲をもって運動や仲間と豊かに関わろうとする子ども～を副題に設定して、研究活動を継続してこられました。その研究成果は、研究紀要に掲載する誌上公開と各体育連盟のホームページに掲載するウェブ公開という、従来とは異なる形式で公開していただきます。従来は、研究大会に直接参加することにより、研究成果を公開授業における児童・生徒の様相から実感したり、分科会の研究協議においてさらに深く理解したりすることができました。今回はそれができませんが、逆に多くの方に手軽に触れただくことが可能になりました。この研究紀要を目にされた方は、このことを多くの方にお伝えいただくとともに、研究グループや校内研修において、研究内容について対話したり協議したりすることを通して、今後の授業改善に役立てていただければ幸いです。

最後になりましたが、研究活動にご尽力いただいた方々に、心より感謝をお申し上げます。また、研究成果の公開にご協力をいただきました、高等学校体育連盟、中学校体育連盟、小学校体育連盟の関係各位に、厚く御礼を申し上げます。

2021年2月吉日